

第7回日本地震工学会

「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会」議事録

日時：2015年7月10日（金）16:00-17:30

場所：工学院大学28F第4会議室

出席者（敬称略）：久田委員長，村上，高田，安田，後藤，大原，久保，山本，山下，大井，
小林（文責）

配布資料及び議事

資料1：議事次第及び報告事項

報告事項；震災技術対策展（大阪），大阪での地下街の水防活動について

資料2：前回議事録

資料3：委員名簿

資料4：日本地震工学会年次大会でのセッションについて

実施の方向で調整する。

世界地震工学会のセッションの締め切りは間に合わないが，アブストラクトの締切は9/15である。

資料5：高田先生からの話題提供

「選好意識データを用いた災害時の避難行動モデルの推定（足立区千住地区を対象）」

・「選好意識調査」は現実には起こっていない状況を調査するために用いられる手法。

Q 避難の時間帯は？

A 明示していないが回答者は昼と考えていると思う。

Q 一時集合場所，広域避難場所，学校について

A 行政が指示する一時集合場所を正しく行先に回答した人だけ一時集合場所に分類している。

・学校に行く人が多いことによる問題の発生をシミュレーションで明らかにできると良いのではないか。

資料6：本委員会の最終報告書の作成について

・次回の会議で各自，担当部分の趣旨を持ち寄る。

Q 報告書においてレベル1・2・3をどのように扱うか？

A 入れることが可能な分野では入れる。

Q テーマに含まれる「複合」災害をどのように扱うか？

A 複合まで十分な検討が及んでいないと思われるので複合災害に対する課題を述べる程度でどうか。

Q 対象エリアについて，テーマに含まれる「首都圏」の扱いをどうするか？

A 首都圏を全て扱うと焦点がぼやけるので、新宿、北千住等の中心部を対象とする.

Q 報告書の対象読者は？

A 災害対応従事者に報告するイメージとする.

資料7：水防法等の改正について

S I Pで対応するに相応しい可能性があるので足立区の状況を調査してみる.

次回は 9/28AM, 9/29, 10/1 夕方などから調整する (WEBサイト調整くん).